

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年 1月25日
【発行者名】	日本プライムリアルティ投資法人
【代表者の役職氏名】	執行役員 金子 博人
【本店の所在の場所】	東京都中央区八重洲一丁目 4 番16号
【事務連絡者氏名】	株式会社東京リアルティ・インベストメント・マネジメント 取締役財務部長 小澤 克人
【連絡場所】	東京都中央区八重洲一丁目 4 番16号
【電話番号】	03-3231-1051
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

本投資法人の運用に関する基本方針に以下の変更がありましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令第29条第1項及び同条第2項第3号の規定に基づき本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

（1）変更の内容についての概要

平成23年9月28日付で提出した有価証券報告書（以下「直近有価証券報告書」といいます。）の「第一部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 2 投資方針（1）投資方針」の一部を以下のとおり変更します。なお、特に断らない限り、直近有価証券報告書で定義された用語は、本書においても同一の意味を有するものとします。

___の部分は変更箇所を示します。

第一部 ファンド情報

第1 ファンドの状況

2 投資方針

（1）投資方針

a．基本方針

（中略）

b．投資態度

（イ）ポートフォリオ運用基準

（中略）

保有期間

（中略）

用途

（中略）

地域

（中略）

テナント

（中略）

不動産等を主たる投資対象とする資産対応証券等

（中略）

開発案件への投資方針

（中略）

設備投資の方針

（中略）

付保方針

（中略）

売却方針

）本投資法人の保有する不動産等又は不動産等を主たる投資対象とする資産対応証券のうち、売却対象資産の選定については、当該売却対象資産の現状、将来の収益、資産価値の増減等についての予測及びポートフォリオ全体の資産構成等を考慮して、総合的に判断します（規約 別紙1「資産運用の対象及び方針 3. 投資態度（3）」）。

）各決算期に行う資産評価の結果、その評価額が各決算期末の帳簿価格の20%を超えて下回った物件については、投資政策委員会において継続保有するか売却するかの検討を行う

ものとし、また、売却に際しては、主に以下の観点から検討を行うものとし、

(後略)

(口) 投資基準

(中略)

地域

(中略)

規模

(中略)

設備施設

(中略)

耐震性(築年数)

(中略)

テナント

(中略)

権利形態

) 共有の場合

(中略)

) 区分所有の場合

(中略)

) 借地の場合

(中略)

) 底地の場合

原則として、借地法又は借地借家法に基づく借地権の設定された土地を対象とします。

借地権者の属性については慎重に考慮し、地代の改定、借地契約更新時の更新料、建替時の承諾料又は売却の際の承諾料等の収益性に与える影響等を考慮のうえ判断するものとします。

_) 担保権・用益権の場合

(中略)

投資金額

) 1物件当たりの最低投資額

(中略)

) 1物件当たりの最高投資額

(中略)

) 取得価格の制限

不動産等又は資産対応証券等に投資する際の取得価格については、原則として鑑定評価額を上限とします。ただし、次の場合には当該資産の取得によりファンド全体の当期における基準となるNOI利回りを下回らないことを前提として、上記取得価格の上限である鑑定評価額を上回ることができるものとします。

(後略)

(2) 変更の年月日

平成24年1月25日